

平成26年10月20日

各 位

公益財団法人 大同生命国際文化基金

**翻訳出版事業「アジアの現代文芸」シリーズ
の新刊と既刊の電子書籍化について**

公益財団法人 大同生命国際文化基金（大阪市西区江戸堀1-2-1 理事長：喜田哲弘）が公益事業の一つとして行っております翻訳出版事業「アジアの現代文芸」シリーズの新刊と既刊の電子書籍化について、以下のとおりお知らせします。

記

1. 「アジアの現代文芸」シリーズの電子書籍化について

アジア諸国の現代文芸のうち、わが国への紹介が望まれる作品を翻訳・出版する事業で、アジアの国々の今日の姿をそれぞれの国が生んだ文芸作品を通じて理解することを目的としています。

本事業は営利を目的とせず、財団自らの手で翻訳・出版にあたるもので、企業財団として他に例のない事業として取り組んできましたが、作品(出版部数2,500部)は全国の大学、国公立図書館等に寄贈し、市販を一切行っていないことから、図書館に行かない限り手に取って読んでいただくことはできませんでした。

そこで、30年近くをかけて翻訳・出版してきた12ヵ国、63点の作品(平成26年10月現在)を、より多くの文学ファンの方に読んでいただけるよう、大同生命が平成24年度に創業110周年を迎えたことを契機として、同年度より紙の書籍の出版と並行して、既刊・新刊の電子書籍化を進めております。

2. 新刊『短編集 買い物かご』について

『短編集 買い物かご』を斎藤紋子^{あやこ}氏の翻訳により、紙の書籍および電子書籍として出版しました。

これは「アジアの現代文芸」シリーズの63冊目にあたり、ミャンマーとしては8冊目の作品になります。

ミャンマーは軍事政権のもとで鎖国に近い状態が長く続いていましたが、2011年の民政移管により改革開放が進み、大きな転機を迎えつつあります。

本書には、ミャンマーの日常生活に欠かせない“市場”^{いちば}をめぐる人々の交流を描いた、作家キンキントウによる短編13編を収録しています。

いずれの作品も、“買い物”という行為にまつわる人々の日常の営みが、細やかな筆づかいを通じて生き生きと描かれ、将来はミャンマーの中からも失われていくであろう、懐かし

いアジアの原風景に触れることができるでしょう。

3. 電子書籍化について

新刊に併せて、今回は新たに既刊 8 作品を電子書籍化しました(既刊 8 作品の作品紹介は 5～6 ページ参照)。

電子書籍として無料公開している作品は平成 25 年 12 月までに公開した 24 作品とあわせて 33 作品となり、当財団ホームページ(<http://www.daido-life-fd.or.jp/>)上の「アジアの現代文芸電子図書館」からご覧になることができます。

【新たに電子書籍化した 9 作品】

	作品名 (国名)	翻訳出版時期	著 者	翻 訳 者
既 刊	①アジアにかかる虹(タイ)	昭和 62 年 2 月	スミット・ヘーマサトン/ アキン・ラピーパット	野中 耕一 編 訳
	②パルメーシャル・スイン グ(パキスタン)	昭和 62 年 7 月	アフマド・ナディーム・ カースミー	鈴木 斌 編訳
	③静寂(パキスタン)	昭和 63 年 5 月	アフマド・ナディーム・ カースミー	鈴木 斌 編訳
	④農民ガバ(ミャンマー)	平成 4 年 7 月	マアウン・ティン	河東田 静雄
	⑤ダーダーと呼ばれた女 (パキスタン)	平成 4 年 12 月	ハディージャ・マストウ ール	鈴木 斌 編訳
	⑥レダン山のお姫様(マレ ーシア)	平成 15 年 4 月	——	藤村 裕子/ タイバ・スラ イマン 編訳
	⑦ベトナム現代短編集 2 (ベトナム)	平成 17 年 8 月	ヴォー・ティ・スアン・ ハー他	加藤 栄 編訳
	⑧漁師(ミャンマー)	平成 19 年 8 月	チェニイ	河東田 静雄
新 刊	⑨短編集 買い物かご (ミャンマー)	平成 26 年 10 月	キンキントウー	斎藤 紋子

【これまでに電子書籍化した 24 作品】

作品名 (国名)	翻訳出版時期	著 者	翻 訳 者
①業の罫(タイ)	昭和 61 年 3 月	ドウアンチャイ	吉岡 みね子
②チャオプラヤー河の流れ (タイ)	昭和 62 年 11 月	サティエン・ チャンティマートーン	吉岡 みね子
③ニ・ポロック (インドネシア)	平成 2 年 1 月	ヤティ・マルヤティ・ ウィハルジャ	佐々木 重次監 修、山根 しの ぶ訳
④初夏 霞立つ頃 (ミャンマー)	平成 2 年 11 月	マアウン・マアウン・ ピュー	河東田 静雄

作品名 (国名)	翻訳出版時期	著 者	翻 訳 者
⑤地、水そして花(タイ)	平成 3年 7月	サクチャイ・バムルンポン	吉岡 みね子
⑥ヌキのいない旅 (インドネシア)	平成 5年 4月	アイプ・ロシディ	粕谷 俊樹
⑦ミャンマー現代短編集 1 (ミャンマー)	平成 7年 2月	マウン・ターヤ他	南田 みどり
⑧鱒の涙(フィリピン)	平成 9年 3月	アマド・V・ヘルナンデス	大上 正直監 修、蜂谷 純子 訳
⑨ミャンマー現代短編集 2 (ミャンマー)	平成10年 9月	マウン・ティンスン他	南田 みどり
⑩農園の日差し (ベトナム)	平成12年 9月	タック・ラム	川口 健一
⑪愛のかたみ (インドネシア)	平成14年10月	ヤティ・マルヤティ・ ウィハルジャ	山根 しのぶ
⑫敗者の勝利(タイ)	平成16年12月	セーニー・サオワポン	吉岡 みね子
⑬山の麓の老人 (マレーシア)	平成17年 3月	アジジ・ハジ・ アブドゥラ	藤村祐子、タイ バ・スライマン
⑭ビールーの少年時代 (インド)	平成18年11月	クリシュナ・ バルデーオ・ヴァイド	長崎 広子
※⑮地獄の一三六六日 (カンボジア)	平成19年 2月	オム・ソンバット	岡田 知子
⑯罪との闘い(タイ)	平成20年11月	シーブーラパー	宇戸 清治
⑰幻想の国(タイ)	平成21年 9月	M. R. ニミットモンコン・ ナワラット	吉岡 みね子
⑱ティンペーミン短編集 (ミャンマー)	平成22年 2月	ティンペーミン	南田 みどり
⑲変革の時代(スリランカ)	平成23年10月	マーティン・ ウィクラマシンハ	野口 忠司
⑳ウダイ・プラカーシ選集 (インド)	平成23年12月	ウダイ・プラカーシ	石田 英明
㉑時の終焉(スリランカ)	平成24年 9月	マーティン・ ウィクラマシンハ	野口 忠司
㉒現代タイのポストモダン 短編集 (タイ)	平成24年12月	プラープダー・ユン他	宇戸 清治
㉓ベンガル詩選集 『もうひとつの夢』(インド)	平成25年10月	ジボナノンド・ダーシュ 他	丹羽 京子
㉔ラオス現代文学選集 (ラオス)	平成25年12月	ドワンチャンパー他	二元 裕子

※平成19年10月「第43回日本翻訳出版文化賞」(日本翻訳家協会)受賞

<国別出版作品数>

国名	出版作品数	国名	出版作品数
インド	8点	バングラデシュ	2点
インドネシア	5点	フィリピン	1点
カンボジア	2点	ベトナム	3点
スリランカ	3点	マレーシア	4点
タイ	16点	ミャンマー	8点
パキスタン	9点	ラオス	2点
		計	63点

以上

照会先：公益財団法人大同生命国際文化基金 事務局（北迫）
電話 06 (6447) 6357 / Fax 06 (6447) 6384

作品紹介

(1) アジアにかかる虹(タイ)

タイにおける著名な教育家であり、タイのスラムの子供たち、住民のために献身的な努力を続けるプラティープ女史の生い立ちと数々の活躍をつづったスミット・ヘーマサトン氏による評伝です。後半には、コーンケン大学アキン・ラピーパット教授の論文『スラム—問題の所在と解決方法』が収められています。プラティープ女史は、スラムの劣悪な環境にある子供たちと家族を支援し、スラム住民の地位、生活の改善のために闘いました。プラティープ女史の人柄や功績を描いた本書からは、スラム問題やその性格についての知識をも深めることができます。(原作発表年 1978、1983年)

(2) パルメーシャル・スィング(パキスタン)

表題の「パルメーシャル・スィング」を始めとする12編の短編が収められています。「遊び」、「足のとげ」、「筋道」、「瓜」などに共通して見られるのは、農村生活の過酷な日常と、貧しいながらも誠実に生きている民衆の姿です。地主や役人などの抑圧者に対する著者の怒りが、民衆への深い同情と共感となって投影されています。「クリー」、「盗人」、「スルターン」に描かれているその日暮らしのクリーや、物乞いの少年を見る著者の目は非常に温かく、故郷の民衆への限りない愛情に溢れています。(原作発表年 1949～1967年)
著者のアフマド・ナディーム・カースミー(1916-2006)は小説家、詩人、評論家、ジャーナリストとして活躍したパキスタンの代表的な文学者。作品の幾つかは日本語以外に英語、ロシア語、チェコ語、中国語などに翻訳されています。

(3) 静寂(パキスタン)

表題の「静寂」を始めとする5編の短編が収められています。自分を犠牲にしないと家族を養えない貧しい未婚の女性、自分の妻を売ってしまう宿屋の番人…動乱で故郷を追われ、どん底の生活を強いられても、生きていかなければならない哀しさとともに、貧しい者だけが持つたくましさを描いた作品が収録されています。どの作品も貧しい人々から搾取する抑圧者たちへの激しい怒りがテーマとなっています。(原作発表年 1959～1973年)
著者は「パルメーシャル・スィング」と同じアフマド・ナディーム・カースミーです。

(4) 農民ガバ(ミャンマー)

第二次世界大戦下、ビルマがイギリスの支配から日本の支配へと移る中、イラワジデルタ地方の村に抗日革命の旗が掲げられます。歴史の波に翻弄されながらもたくましく生きる主人公ガバを通して、日本軍占領下のビルマの農民の生活を活動的に、面白く、風刺的に描いた小説です。人々がどのような戦争体験をしたのかを、ビルマの典型的な農民の視点と立場から描いています。主人公の戦争体験は、ビルマの農民ひいてはビルマの民衆一人ひとりが被った戦争体験と多かれ少なかれほぼ共通していると言っても過言ではないでしょう。当時のビルマの政治や社会状況についても、事実に基づいて正確に描かれています。(原作発表年 1945年)

著者のマアウン・ティン(1909-2006)は独自の硬質な文体と豊饒なビルマ語の語彙を駆使した風刺的作風を好む作家。小説等の執筆と並行して独立後のビルマの政府高官等も務めました。1954年ビルマ作家協会会長。1959年ビルマ新聞記者協会会長。

(5) ダーダーと呼ばれた女(パキスタン)

表題の「ダーダーと呼ばれた女」他8編の短編を収録しています。「ダーダーと呼ばれた女」は、自分が女であることを拒否し、悪い奴を意味する“ダーダー”と自らを名乗った女の悲劇を描いています。甘い結婚生活も束の間、家計は姑が握り、夫も母親の言いなり。子供が生まれたものの姑に取り上げられ、彼女は家を追い出されます。希望を失った彼女は泥棒仲間に加わり、あげくの果てに監獄送りとなります。そこに赤ん坊を連れた女囚が入ってくるのですが…。著者は、同性である彼女らに対して、深い同情と共感を示しながらも、冷めた目で観察し、パキスタン社会で厳しい立場に置かれている女性の肉声をじかに伝えていきます。(原作発表年 1981～1988年)

ハディース・マストゥール(1927～1982)はパキスタンを代表する女流作家。家庭の事情から10歳で学校教育を断念しますが、缺と渾名されたほどの才能と文学への情熱から、21歳で本格的な作家活動に入りました。回想形式を縦横に駆使した作品で人々を魅了し、1962年にはアーダム・ジー文学賞を受賞、その評価を不動のものとししました。

(6) レダン山のお姫様(マレーシア)

マレーシアの昔話や伝説を日本に紹介した最初の作品となります。多くの王様や王子様・お姫様が登場し、王家や王族をめぐる人々の生活が興味深く描かれています。一方、ごく身近な庶民の暮らしぶりがうかがえる作品も収録されています。

(7) ベトナム現代短編集2(ベトナム)

ベトナムの作家11人の作品を集めた短編小説集です。主に1990年前後から2000年前後にかけて現地で発表された作品を中心に収録しています。各作品には作家各々の立場から、めざましい躍進を遂げているベトナムの社会、そこに生きる人々の姿や悩みが描かれています。(原作発表年 1989～2002年)

(8) 漁師(ミャンマー)

イラワジ河下流デルタ地帯のダヌピュ地方を舞台に、貧しい漁師夫婦の日常とその心の世界がリアルに描かれています。雨季から乾季、暑季へと移りゆく自然を背景に、そこに暮らす漁師たちは森羅万象に精霊が宿ることを信じ、地域を守る精霊神の存在を心の支えにしながら、日々の厳しい労働の中に過ごしています。そこには、自然と一体になって生きようとする無意識の共存があります。著者はこの作品を通じて、言葉や民族、国の違いを超え、私たちに“人間とは何なのか、生きるとはどういうことなのか”という普遍的な問いかけをしたのではないのでしょうか。本作品はミャンマーにおいてリアリズム文学の傑作と評されています。(原作発表年 1975年)

著者のチェニイ(1922-1974)は、1950年に短編小説「漁師」で独立後のビルマ文壇にデビュー、リアリズム文学の珠玉の作品と絶賛されました。1950年代半ばにかけて40編ほどの短編小説、翻訳作品を発表しますが、1957年から精神疾患の病に苦しみ、執筆活動を断念しました。
